

3.2.4 情報通信部門 情報セキュリティ推進室

室長 中沢淳一 ほか1名

情報セキュリティ研究開発の総合調整、連携等の推進

概要

情報セキュリティに係る研究開発の推進のための企画・立案・研究計画の調整、プロジェクトの管理・運営、内外機関との調整・連携促進、研究成果の取りまとめ及び成果発表の促進等に至る一連の作業を行うことで情報セキュリティに係る研究開発を効率よく実施し、標準化・ビジネス化を含めて、多くの研究成果が得られることを目標とする。具体的には、

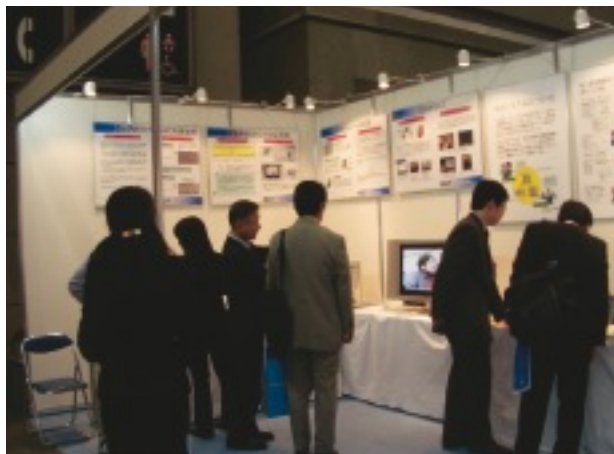
(1)プロジェクトの推進：情報セキュリティユニットを通じて部門内及び関係部門のグループと連携し、各グループからの提案を集約しながら実行計画案を提示するとともに、NICTとしての情報セキュリティに対する方向性を検討する。必要に応じ、情報セキュリティに対する将来も見据えた研究ニーズ、研究推進体制等の調査を通して、プロジェクトの効率的な推進を図る。(2)情報セキュリティサポート会議を開催し、自主的研究や委託研究も含めた総合的な研究開発の方向性を検討する。(3)EMCセンター等他部門との協力や、共同研究、研究委託等の外部機関との連携促進、(4)季報・シンポジウム等各種活動を通じた成果の報告・周知、国内外の標準化活動の推進、(5)大規模研究開発施設有効利用の推進を行う。

平成17年度の成果

- (1) 情報セキュリティ各グループにおける次期の研究課題の取りまとめと計画策定を推進した。情報セキュリティユニットとしての会議開催や研究発表における取りまとめを行った。防災・減災ICTの研究課題について調査を行うとともに、被災者安否情報確認システムの地方自治体での利用に関する調査を行った。
- (2) 総務省、学識経験者、ISP、メーカー、OS・セキュリティソフトのベンダーなど総勢30名規模のサポートメンバー会議を引き続き開催した。また、サポートメンバー等による講演会を開催した。
- (3) EMCセンターと連携し、民間企業との共同研究体制を構築するとともに、Telecom-ISAC Japanとの共同研究等の連携を一層推進した。また、科学技術振興調整費における共同研究を通じ、情報セキュリティ研究機関との連携を強化した。さらに、大学、地方自治体、民間企業との研究交流、情報交換を進めた。
- (4) NICT季報や研究発表会、展示会(危機管理産業展等)などを通じて、情報セキュリティユニットあるいは情報セキュリティセンターの研究成果を積極的にPRした。



第2回情報セキュリティサポートメンバー会議の様相
(平成18年1月13日)



危機管理産業展2005(平成17年10月19-21日)
セキュリティセンターによる展示の様相